

## 第 3 章

既存施設ユニットケア実践報告事例（今後の計画）

## 特別養護老人ホーム「やすらぎ園」

～ダイルーム・食堂を改修し、落ち着いたリビングルームへ（ステップ1）～

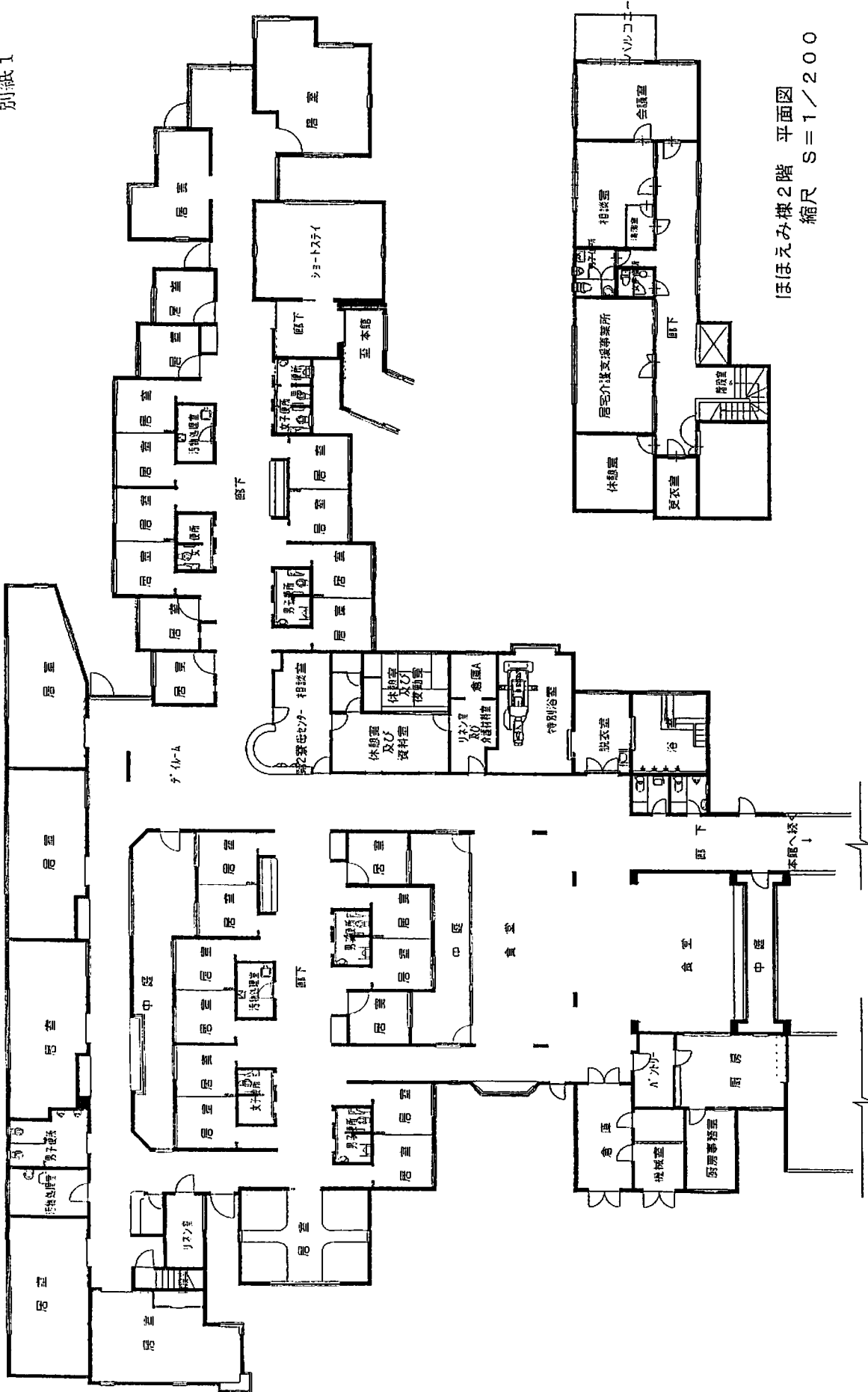
- ダイルーム、相談室等を改修してリビングルームを創り出す。
- 配管の工事を行い、リビングルームに入居者が食事の準備や後かたづけができるようなミニキッチンを設置し、食事はユニットで一部加工して摂る。
- テーブル上には吊り下げ型のライトをおき、家庭のリビングルームの雰囲気を出す。

既存施設ユニットケア実践報告事例

施設名称		特別養護老人ホームやすらぎ園
運営主体		社会福祉法人旭福祉会
施設所在地		千葉県旭市イの3925の2
電話番号		0479-63-9011
開設年月日		昭和57年4月17日
施設 の 現 況	定員	114名(入所100名・ショート14名)
	職員数	施設長 1名 生活相談員 2名 理学療法士 1名 (非常勤1名) 看護職員 5名 (常勤2名・非常勤3名) 介護職員 35名 (常勤27名・非常勤8名) 栄養士 1名 調理員 8名 事務員 3名 (常勤2名・非常勤1名)
	人員配置基準	3 : 1
	概要	◎「1人ひとりを大切にした質の高い介護サービスの提供」の理念に基づく介護 ◎ やすらぎ園ケアネットワークにより、施設・在宅サービスの統合的な提供。 《施設》 特別養護老人ホームやすらぎ園 ・ 一般介護棟 50名 ・ 痴呆性高齢者介護棟 50名 ・ ケアハウス 50名 《在宅》 ・ 在宅介護支援センター(居宅介護支援事業所) ・ 痴呆性高齢者グループホームまどい ・ デイサービスセンター ・ ホームヘルプサービス ・ ショートステイサービス ・ 配食サービス ・ 第2デイサービスセンター ・ 在宅介護支援センターひかた(居宅介護支援事業所) ・ 旭市に所在し、平屋建施設の周辺は多くの緑で囲まれ、また国道に面した所があり、大型スーパーなどが近接している。 ・ 痴呆性高齢者介護棟一個室24部屋、2人部屋1、4人部屋7、(第1段階として、ユニットケアに取り組む) ・ 一般介護棟一個室4部屋、4人部屋14、2人部屋2となっている。

<p>ユニットケアへ取り組むきっかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H7年4月より、フリータイム制（利用者別担当制）を導入。</li> <li>・ H10年10月より、痴呆介護棟にてよりきめ細かなケアを行う為、レベル別のグループケアが必要となったが、ハード面で問題があり、H12年4月より、痴呆性高齢者グループホーム「まどい」開設、現在、試行錯誤の中ユニットケアを実施中。</li> <li>・ 痴呆介護棟でのユニットケア実現のため、ユニットケア検討委員会を発足させる。</li> </ul>
<p>現状において、ユニットケアを実践する上での問題点</p>	<p>◎ 現在、施設は21年目を迎え、ユニットケアを進めるにあたり3段階にわけて、実施せざるを得ない。</p> <p>第1段階 痴呆性高齢者介護棟のユニット化</p> <p>第2段階 厨房・浴室を含めた一般介護棟の改修・ユニット化</p> <p>第3段階 新たに新型特養の増床</p> <p>【現時点の問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハード面 ⇒ 既存施設のため、何ヶ所かのセミプライベートゾーンを取る余裕がなく、どのように工夫していくか。 ユニットごとの、ミニキッチン・トイレ・洗面所・流し台等の設備整備などに無理がある。</li> <li>・ ソフト面 ⇒ 職員1人1人のユニットケアに対する十分な理解が必要。 現状の人員配置では無理がある。</li> </ul>
<p>自分たちの考えるユニットケア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の理念である「1人ひとりを大切にしたい質の高い介護サービスの提供」の実践のためのユニットケア。</li> <li>・ 利用者が、自分らしく生活が送れるようにお手伝いしていく。（QOLの向上）</li> <li>・ 環境がより家庭に近く、温かい雰囲気を提供する。</li> <li>・ 人と人との交流がより密になり、「幸せとを感じる」ホーム作りにつながる。</li> </ul>
<p>必要と考えられる人員配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各ユニットに、日勤帯—介護職員1ないしは2名配置し、スーパーバイザー1名 8名程度必要。夜勤帯—介護職員2名のため、2.5：1の配置が必要と考えられる。</li> </ul>
<p>現状の施設配置図</p>	<p>別紙1のとおり</p>
<p>改修後の施設配置図</p>	<p>別紙2のとおり</p>
<p>居室のイメージ及び設置する設備・備品</p>	<p>本人が使用していたなじみの家具や身の回りの備品などを持ってきていただいたりして、安心した空間で本人らしい生活が送れるような雰囲気作りをする。</p> <p>4人部屋は、腰壁を利用したパーティションや障子を適度に利用した間仕切りでプライバシーの尊重をしていく。</p>

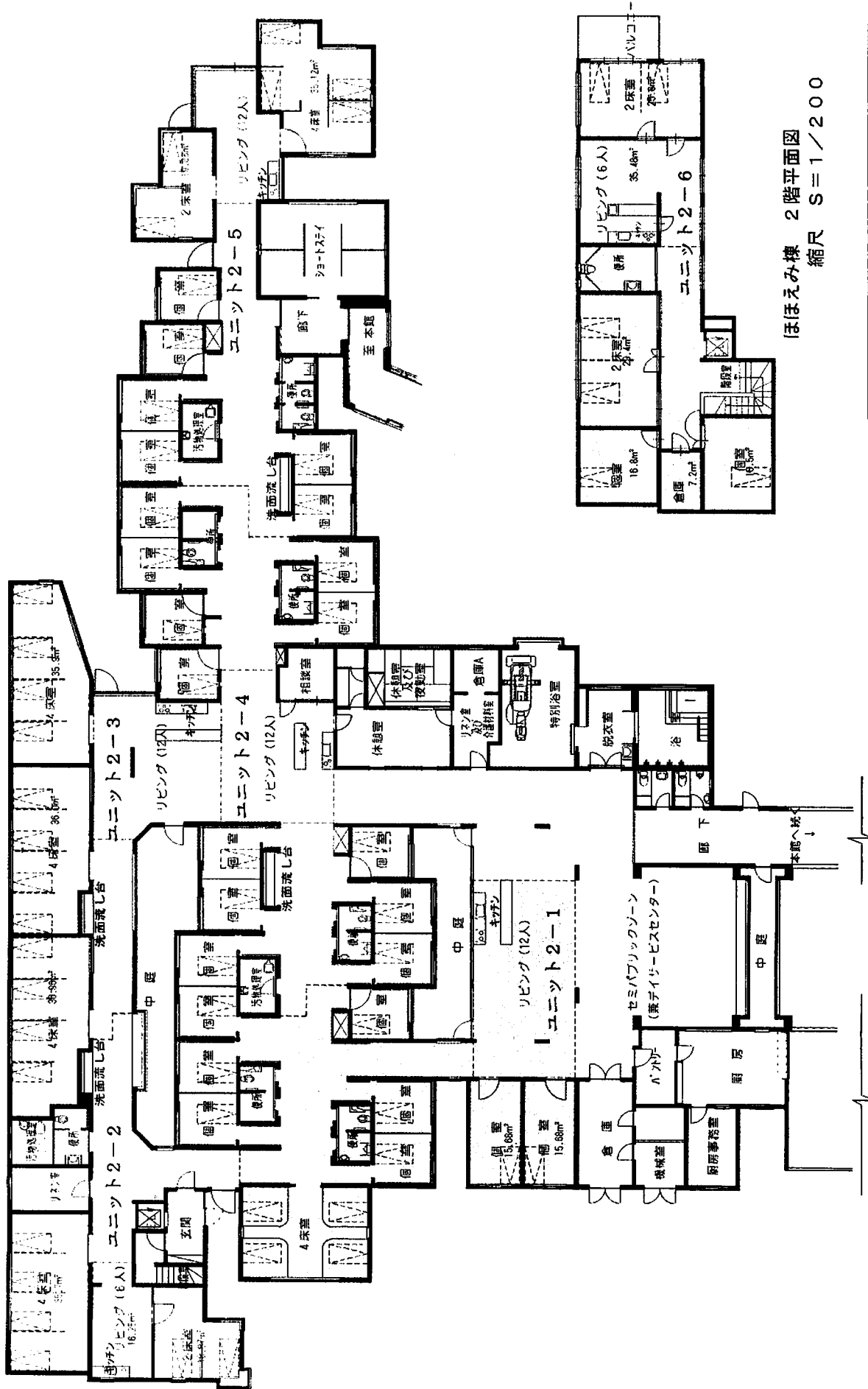
<p>リビングルームのイメージ及び設備する設備・備品</p>	<p>居室以外にも、やすらぎの空間をつくる。 各ユニットとしては、中庭を利用した明るく開放的なイメージのくつろぎの空間や、小規模にした落ち着いたある雰囲気のある空間など各ユニットに特色をもたせる。 そのような空間の中でミニキッチン・流し台・ダイニングテーブルやソファを配置して家庭的なダイニング・リビングルームをつくる。</p>
<p>職員に対する研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニットケアのビデオでの研修。</li> <li>・ 施設見学を行う。</li> <li>・ ユニットケアの研修会への参加。</li> <li>・ 各事業所ごとに、ユニットケアの理解を深める研修を行う。</li> <li>・ 施設内グループホームでの研修。</li> <li>・ 逆デイサービスの実施。</li> </ul>
<p>理事長等経営者に対する意識改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当園では、理事長、園長共県内初めてのグループホームを開設するなど積極的にユニットケアに取り組んでいる。</li> </ul>
<p>今後のユニットケアのあり方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の中に、地域に密着した、地域に溶け込んだ“グループホーム”をユニットケアの理念を生かし、作っていききたい。</li> <li>・ ユニットケアを原点として、法人の理念と、ディズニーランドの理念である「永遠に未完成である」を念頭におき、利用者の立場にたった、より質の高いケアを目指して行く。</li> </ul>



ほほえみ棟1階 平面図  
縮尺 S=1/200

ほほえみ棟2階 平面図  
縮尺 S=1/200

特別養護老人ホーム やすらぎ園	1
ほほえみ棟 平面図	



ほほえみ棟 2階平面図  
縮尺 S=1/200

ほほえみ棟 1階平面図  
縮尺 S=1/200

特別養護老人ホーム やすらぎ園
ほほえみ棟ユニットケア 平面図 1/200

